

仙台城 now! vol.2

発行
仙台市教育委員会文化財課
仙台城史跡調査室
令和5年1月27日

仙台城跡の整備について

仙台城跡^{あと}では令和3年3月に作成した『史跡仙台城跡整備基本計画』をもとに、よりお城らしい姿となるように整備を進めています。仙台城跡の整備の進み具合については、本誌「仙台城now!」で発信していきます。

植生修景を進めています!!

植生修景^{しょくせいしゅうけい}とは、植物をきれいに整備して景色を整えることを言います。仙台城跡では植生修景によって、石垣^{いしがき}や土塁^{どるい}、平場^{ひらば}などが見えるようになることを目指しています。

令和4年度は、東丸^{ひがしまる}(三の丸)跡を囲む土塁と、本丸跡の石垣がよく見えるように草刈りや木を切る整備を行っています。

令和5年度以降も、続けて植生修景を進めます。



土塁の形が明らかになりました!!

東丸(三の丸)土塁は、これまでたくさんの植物で隠れており、形が見えませんでした。今は草刈りが進み、もとの形ははっきり確認できます。今後は一部の木を切って、さらに形が見えるようにしていきます。

高さ10mをこえる土塁からは当時の仙台城が持っていた防御力の高さが伝わってきます。

土塁ってなに?

土塁はお城を守るために土を盛って作られたものです。仙台城跡では一部の土塁の上で、昔のお城の絵にも書かれている土塼^{どべい}と呼ばれる壁の跡が見つかっています。

